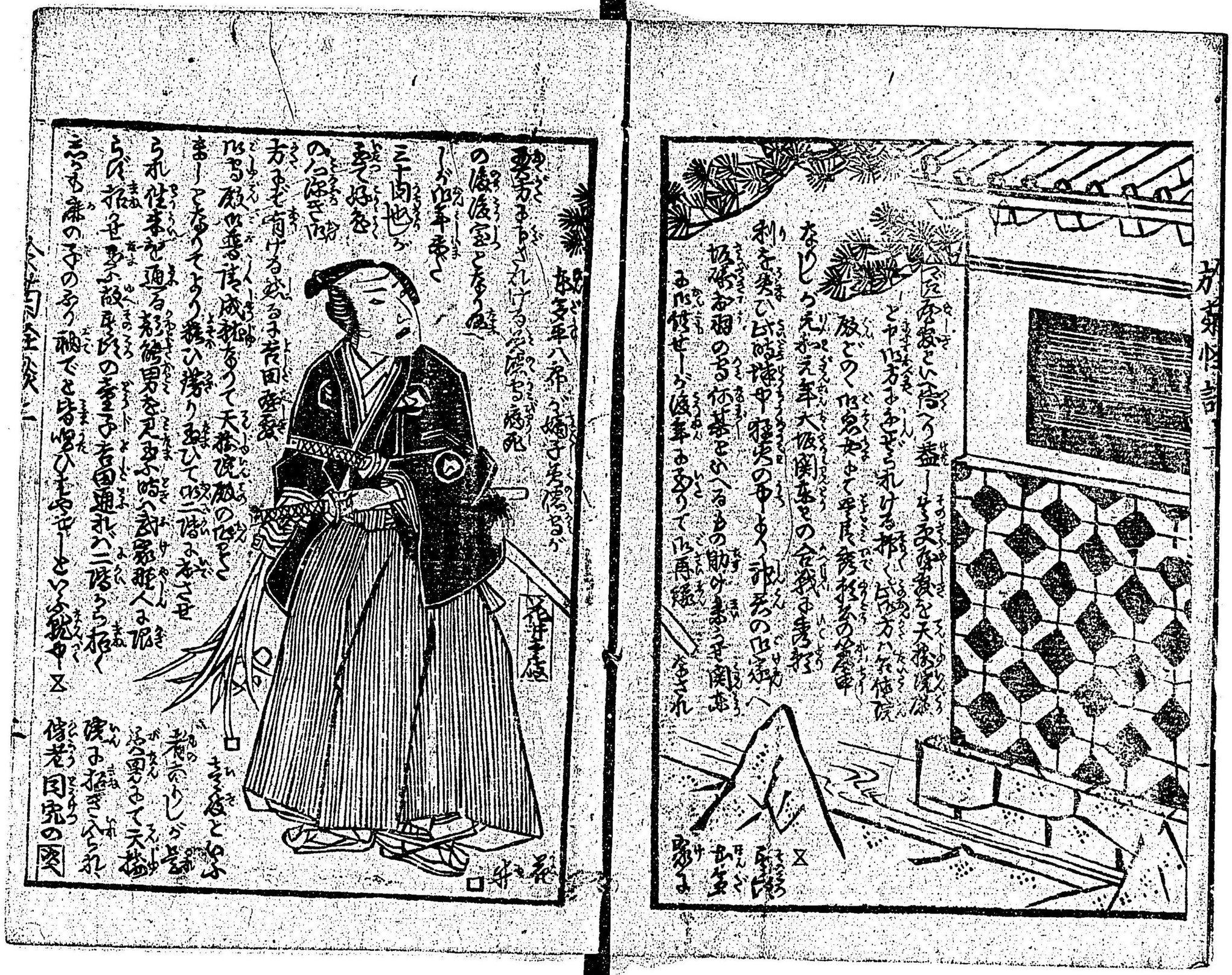
特42
915

天満宮


加賀怪談
なりしゆえ
利を奪ひ
坂崎内膳の
助ひ
家を

慶安年八月
の後後室となり
しが四年
三十四
の八つ
方まで
四郎
殿の
まーとなりてより
ら孔
ら孔
ば
三つも
傳老
図完の図

あまりしこそ恨こそなり成彩の光しきこそ
袖つ面をも引れつゝ濃ハ男の業ハ石
よふりして長ンとれ春子の焼たる
巧業を袖もて拭ミ竹尾が面
る菊玉ひ花を敷むく彩ぜ
も忽ち烈火ゑ焼たゞれ月
ハも今ハ一ハ一ハ焦焦
地獄の責よ恐ふ竹尾ハ
ゝ苦をたりあげてくる
ーや絞ぐくやといふ
こゑさへも声さゞれて
絶ゆ声なくなり
ゆけるこの物まくゝ

竹尾

[天満宮]

△そてーといふも終らぬ
内刀長吉より逃げまく成を
追うけ丑ひさを中みぞ
落されけるされば花井
竹尾若ガ死がひハ此度
殺の方ゑありー

井の左ちゃ投入
ゆゑ銃中
後も男子数
多をひき入
[illegible]
の加ゑ者ー此
ちやう[illegible]

△此生ぐらい
もある

田ばこん孤ゑ
[illegible]なぶう
此安ゑ
[illegible]
と[illegible]

△ゑ

いへとも永[illegible]
そむくゑあく
バ忍ち此ゑ
ゑ撃ちれ
国ト井ゑ
ゑうち込まる
ゑ毎ゑ成ゑり
初ゑ流儀不ぜつ
の此撃ち[illegible]
なる百天魔の兄入
ぞや天満院敵ハ
古戦の四年ゑ大坂ゑ入興ありて寒博ゑ見[illegible]を送られ
大坂大乱のせ内ゑ最ゑ此ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ田

[花井ゑ]

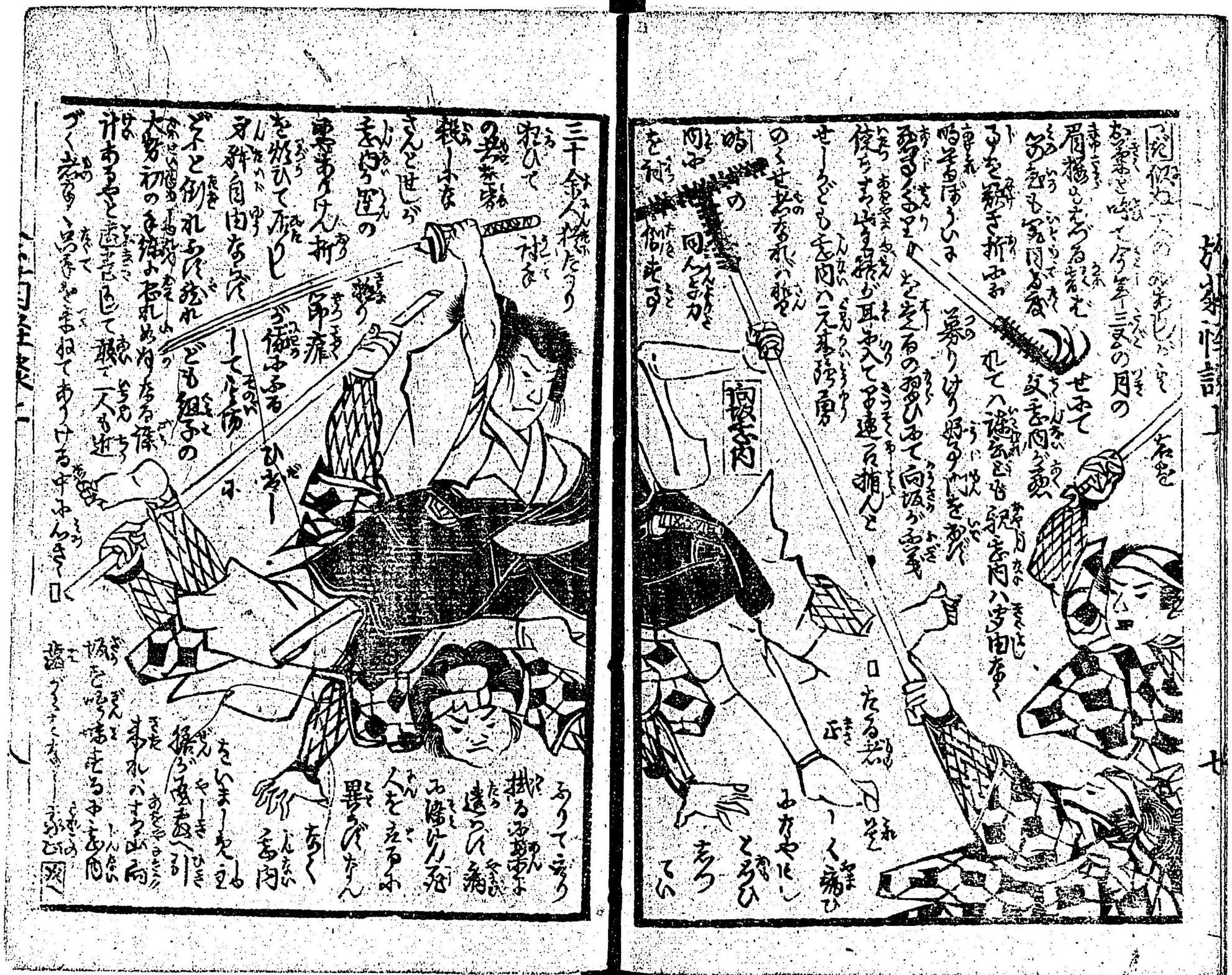
田をさハ
あうゑ
して国

目
黄形
公渡
公を
ころ
ならん
赤天蛙
蒸バ
どめ魚
月て
よ

同じ
子の内
猛火の方
怖ろしく
ゆきを忍れ
分よ報
玉ひ再度の
ひ悪鬼
分を表る
夫を生ぬる
己ら亦夫ならぬ
幾人となくは夜
夜の夫を喜ぬ玉ひしへ
来恐怖の心事形をよじ
ぬよ
味報いしき
巳第よ生れ
反ぐらめ月版
さ去の宿業よ長生赤目
増悪女
せ
寛
永
年
中
延
享
寛
政
去
宵
次へ

江戸方言怪談
山名屋
貞丈庵
あく屋の主人
貞丈庵

ありさく
葉屋
内
武州の住人
人なれば
数多ありしち
どもを
武家
大家
の
大獄不敵の



青生膳

一新撰岡伝三郎作
撰入
撰切物
一
はうこ赤ふ
一
袋入撰切物
十二
一
中本綴引
等法其他
一
切付上下一代紀
実録物ろあ
百番
一
書物錦繪閑屋
地本
金
東京横山町三丁目
辻岡屋文助

特42
915

091958−039−9

特42−915

〔絵本〕

辻岡 文助／刊

M14

DBP−0359